

季節のいきもの

雨の日の自然観察

6月には雨の多い季節。「ジメジメ」「ムシムシ」と、私たちには少し不快な感じを覚えますが、いきものたちはどのように雨の日を過ごしているのでしょうか？今月はセンターの周りで出会った雨の日のいきものたちをご紹介します。

○晴れた日なら、蝶たちが花から花へ飛び交う姿がみられるスロープ付近も、雨の日は全くみられません。探してみると葉の裏で雨宿りをしているナミアゲハを見つけました。

○駐車場のそばにある舟の中では、雨にぬれながらもヨシにつかまっているギンヤンマを見つけ、雨が止むのを待っているようでした。

○グラウンドではドバトやムクドリと言った鳥たちが、雨でも、落ちている小さな木の実や地面の中にあるミミズなどを探しまわっていました。



ナミアゲハ



ギンヤンマ



ドバト

○雨が降るのを待っている生きものにも出会いました。それは、カタツムリです。カタツムリは、こう見えても夜行性なんです。けれど湿気が大好きなので雨の日なら昼間でも行動しているので見つける事が出来ます。

○ケヤキの木にいたナメクジもカタツムリと同じ仲間、湿気と雨の日が大好きです。



ムクドリ



カタツムリ



ナメクジ

雨の日に自然観察をしてみると、雨が苦手ないきものや、雨にぬれても平気ないきもの。雨の日が大好きないきもの。と言った色々ないきものたちと出会う事が出来ました。雨の多い季節、いつもと違う視線で雨の日を過ごしてみませんか？ (S)

6月の星空ガイド

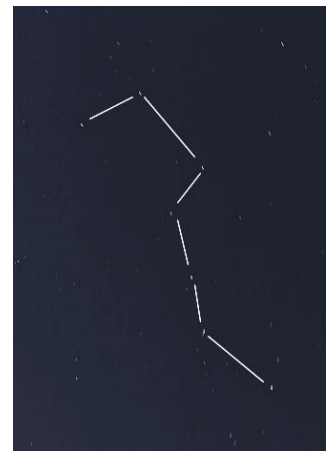
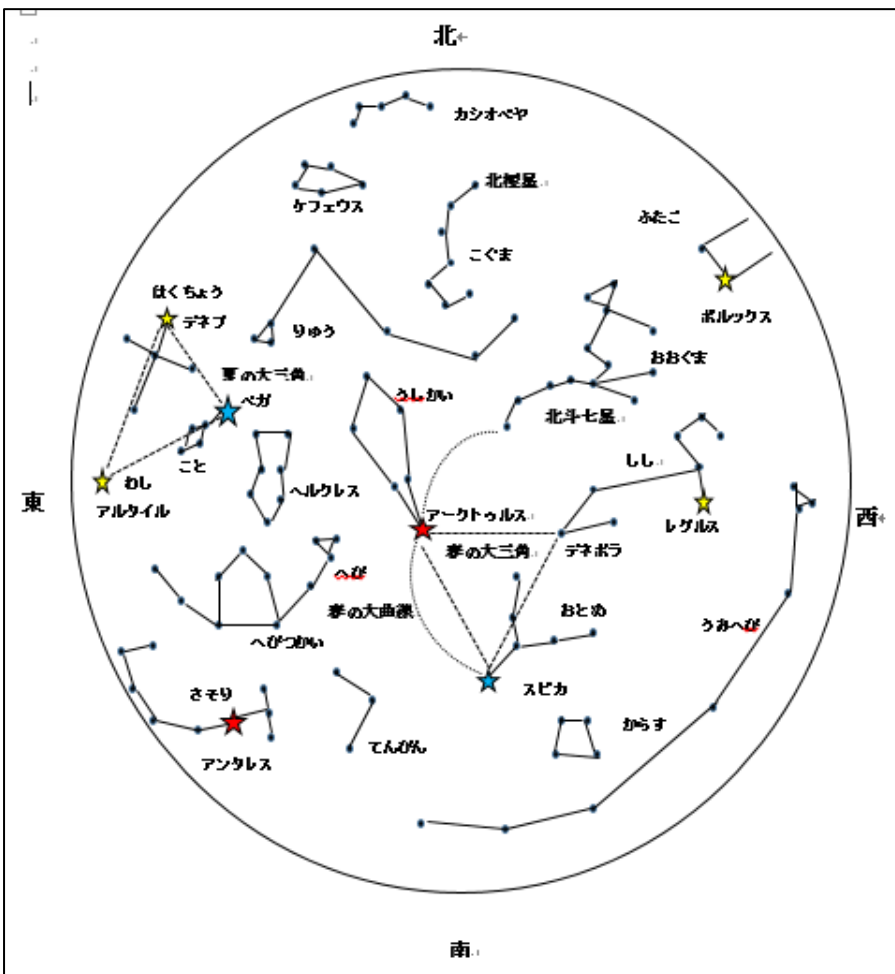
来館時はマスクをして
玄関でアルコール
消毒をしてね!



毎年6月は梅雨のため雨が多いですが、梅雨の中休みというものがあります。この時の晴れ方は大変すばらしく、この日までの長雨で空気中のちりが流され、大変透明度の高い空になります。夜になればいつもの何倍も多く星が見えます。下の図を参考に春から夏の星座を探してみましょう。

初めに図の真ん中、空を見る時は頭の真上にオレンジ色に光る、うしかい座のアークトゥルスを見つけます。その南側には青白いおとめ座のスピカが見えます。しし座のデネボラと結べば三角になり春の大三角と言います。北斗七星がこの三角の北側にあります。大きなひしゃく型の七つの星の集まりです。

東の空にはこと座のベガとわし座のアルタイルが見えています。これは七夕の星でベガが織姫星、アルタイルが彦星です。はくちょう座のデネブと結べば夏の大三角ができます。



北斗七星

1等星はありませんが、ひしゃくの形がわかりやすいです。上の写真は、彩湖で2020.5.24に撮影しました。

新型コロナウイルス対策のため現在講座の開設を行っておりません。今後の講座開設については、ホームページでお知らせします。

おうちミュージアム「ぬり絵」「すごろく」「生きものの動画」他をみどりパルホームページに掲載しています。工作もありますのでご活用ください。

彩湖自然学習センター 〒335-0031 埼玉県戸田市大字内谷 2887 番地

※問い合わせ・受付時間：Tel:048-422-9991 10:00~16:30

※講座案内、開閉館日など詳しくは彩湖自然学習センターホームページをご覧ください。

[\(http://www.city.toda.saitama.jp/site/saiko/\)](http://www.city.toda.saitama.jp/site/saiko/)